



今年の梅雨は、雨の日が続いたかと思えば晴れて気温が高い日が続いたりして、毎日常気や気温が定まらず体調管理や服装選びも難しいですね。それでも子どもたちはどんな天候であれ、日中は汗をかき、全身を使って全力で過ごしているのだと思います。

先日、職員と話の中で「昔は雨の日にレインコートを着てよく散歩に行ったよね」「最近は幼児になるとダイナミックに泥遊びをする子が減った気がする」という話がありました。

汚れたくない子が増えたのか、汚してはいけないと思っているのか…。もちろん成長するにつれて、汚れないように過ごせるようになり、汚れたらどうしたらよいのか対処法を身につけていくようになるのですが、年長になっても「汚して遊びたい」という思いはあるのではないかな…。保護者の方や保育者が服を下洗いしている姿を見て、遠慮している子もいるかもしれない。もしそういう子がいるのなら、保育園ならではの思いっきり表現して遊べる環境を作っていきたいと改めて思いました。



そんな話をした数日後、幼児の担任から「園庭に来て」と事務所に内線が入りました。私は誰かケガしたのかと思い、救急セットをポケットに入れて園庭に向かうと、ダイナミックに、水＆泥遊びをしている幼児クラスの姿がありました。大きな水たまりにばしゃばしゃ入ってみたり、「きゃー」と言いながら座ってみたり…。年長のTさんが最初に入り、それに続くようにみんな入っていったようです。「いいの？」と保育者に聞いてから入る子、靴と靴下を脱いで入る子、なぜか足をたらいの水で洗ってから入る子と、入るまでも様々な子どもの姿がありました。そしてTさんは最終的には水たまりにダイブしていました。そんな様子を近くで濡れないようにじーっと笑顔で見ているSさん。そのSさんの様子や表情から、入りたいけど、本当にびしょびしょになってもよいのかためらっているように見えました。きっと担任にもそう見えたのでしょう。しばらくしてSさんが意を決して水たまりにバシャッと入った時の表情はとても印象的でした。そしてその姿を見ていた担任もいい表情をしていました。担任はこの楽しそうな子どもたちの姿を共有したかったのだと思います。

あえてダイナミックに遊べるように環境を作ったわけではありませんが、保育者同士の振り返りがそういう環境を作りだしたのかなと、私自身も見ていて嬉しく思いました。これからも子どもたちの成長を支える中で、保育者同士もたくさんのお話を話し合い子どもたちと一緒に成長していきたいと改めて思う時間でした。

記：副主任 菅原飛鳥



【おすすめ】

やっぱり「ウタマロ石鰯」です。リキッドもあります。これ以上にいいものがあったら教えてください！

①保育士、看護師、栄養士をしていなかったら何の職業についていた？

→昔から旅行が大好きだったので、ツアーコンダクターです。(昔ちょっと流行ったんですよね…)

②好きなキャラクターは？

→どんなに考えても…ないんです。でも、心無い人だと思われるのでミッキーということにしておきます(笑)

③今まで食べた中で一番おいしかったものは？

→昔は焼き肉屋さんなどで食べられていた「レバ刺し」です。今でもギリギリ食べられるところを探しています。